

平成22年度の決

平成22年度の事業概要は次のとおりです

① 給水状況

給水人口	79,367人	前年度比	1,074人 (1.34%) の減
給水戸数	31,361戸	前年度比	11戸 (0.04%) の減
総配水量	10,329,142m ³	前年度比	108,898m ³ (1.07%) の増

② 建設改良

向町浄水場の1号ろ過機改修工事や場内防犯カメラ設置工事等を行い、より安全な水道水の供給や、施設のセキュリティ強化に努めるとともに、老朽管等の更新を図りました。

新設した配水管は約1.5kmで、総延長は約490kmとなりました。
 なお、老朽管布設替工事を約6.9km実施しました。

中期経営計画の進捗状況をお知らせします

本市水道事業では、将来にわたり必要なサービスを安心・安定的に提供するため、厳しい社会情勢の変化に対応できるよう経営の総点検を行い、効率的、計画的な事業経営を行うため「中期経営計画」(19年度～23年度)を策定しました。

その中で、事業運営において目標となる経営指標を4項目定めましたので、平成22年度の事業計画の進捗や目標の達成状況についてお知らせいたします。

なお、今後も収入の確保や経費の削減に努め、健全な水道事業経営を推進してまいります。

事業運営の目標

指標名	目標値	内容	分析	平成22年度
有収率	91%	総有収水量／総配水量×100	水道システムの効率性	90.4%
総収益対総費用比率	100%以上	総収入／総支出×100	収益性	104.3%
給水収益対職員給与費	9%以内	職員給与費／給水収益×100	費用	6.4%
職員1人当たり有収水量	700,000m ³ /人	総有収水量／職員数	生産性	777,859m ³ /人

有収率 …年間総配水量に対する総有収水量の割合。この数値が低い場合は、漏水、メータ不感水量、公共用水等が多いことが考えられます。

総収益対総費用比率 …総収益と総費用を対比したもので、100%が赤字・黒字の分岐点になります。

給水収益対職員給与費 …給水収益に対する職員給与費の割合。職員数や人件費の水準をみる指標です。

職員1人当たり有収水量 …職員の労働生産性をみる指標で、職員数が適正な規模になっているかを示すものです。